

平成 30 年度 学校経営方針

(1) 学校経営の基本とすること

①国・県・市の方針から

- 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領に掲げられている目標、神奈川県教育委員会が策定した「かながわ教育ビジョン」、厚木市教育委員会の基本目標「拓く力」「感じる力」「築く力」を達成することをめざし、全ての教育活動を展開します。
- 「生きる力」の理念を具体化し、新しい時代に求められる資質や能力の育成をめざします。
 - ①知：確かな学力 ②徳：豊かな心 ③体：健やかな体

②「個性化」「社会化」「安定化」という視点で計画的に教育活動の質の向上を図ります。(「カリキュラム・マネジメント」)



「個性化」では、一人一人の児童が目標に向けて、自分の持つ資質や能力を確実に伸ばしていくことをめざします。

(キーワード=学力向上、体力・運動能力の増進、**夢をえがく力**)

「社会化」では、様々な能力や適性、家庭や国籍等の背景の異なる児童が、学校という集団生活の中で実践的・協働的な力を伸ばし、地域や人とのつながりの中で成し遂げる喜びを実感できる学びをめざします。

(キーワード=児童指導、支援教育、特別活動、**地域や人とつながる力**)

「安定化」では、児童が自らをコントロールし、心身ともに健康で安心して生活できることを基盤とした学校・学年・学級づくりをめざします。

(キーワード=健康・安全、**自分をコントロールする力**)

(2) 学校教育目標

- 思いやりのある子どもに育てます (相互尊重・共生)
- 目標に向けて、ねばり強く考え、学習や仕事に励む子どもに育てます (知性・勤勉)
- 地域を大切にし、地域の人々に学ぶ子どもに育てます (地域愛)
- 進んであいさつができる子どもに育てます (礼儀)
- 体を鍛え、健康・安全を大切にする子どもに育てます (体力・健康)

(3) 児童のめあての育てたいと願う児童の姿

※6年卒業時を想定

| | |
|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ㊦もに そだとう (おもいやりのある子) | <ul style="list-style-type: none"> ・「立場」の違いや多様性を認め、自分に自信をもっている。 ・みんなでやり遂げる喜びを知っている。 ・異年齢集団の活動に参加し、役割と責任を果たす。 |
| ㊧ちゅうで とりくもう (ねばりづよく かんがえはげむ子) | <ul style="list-style-type: none"> ・各教科、中学校につながる学力を身につけている。 ・自分の学習を振り返り、学習の仕方を考えることができる。 ・毎日の目標を決めて、学習などに取り組む。 ・働く喜びや大切さに気づいている。 |
| ㊨くねんかんを たのしもう | |
| ㊩びよう とむろで (ちいきにまなぶ子) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々から多くのことを学び、地域の人々への感謝の気もちにあふれている。 ・地域に貢献しようとする意欲が感じられる。 |
| ㊪はようから はじめよう (えがおであいさつできる子) | <ul style="list-style-type: none"> ・場面や相手に応じた気持ちのよいあいさつができる。 ・心地よい人間関係づくりの大切さに気づいている。 |
| ㊫からだを きたえよう (けんこうであかるい子) | <ul style="list-style-type: none"> ・自らの心と体の健康について関心をもち、規則的な生活習慣ができ、活力にあふれている。 ・進んで運動しようとする習慣が身についている。 |

(4) 今年度の重点 「安心」「信頼」「前進」できる学校づくり

- 安心・安全な学校・学級づくり
- 特別活動の充実により培ってきた児童の自主的・実践的な態度の育成 ～学校風土に～
- 学習意欲を高める授業づくり ～知的好奇心を高める～
- 基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と家庭学習の習慣化 ～学習力の定着～
- 支援教育体制を整備し、一人ひとりの児童に寄り添う指導の一層の充実
- 同僚性の構築、ゆとりと熱意に満ちた教師と教師集団をめざす